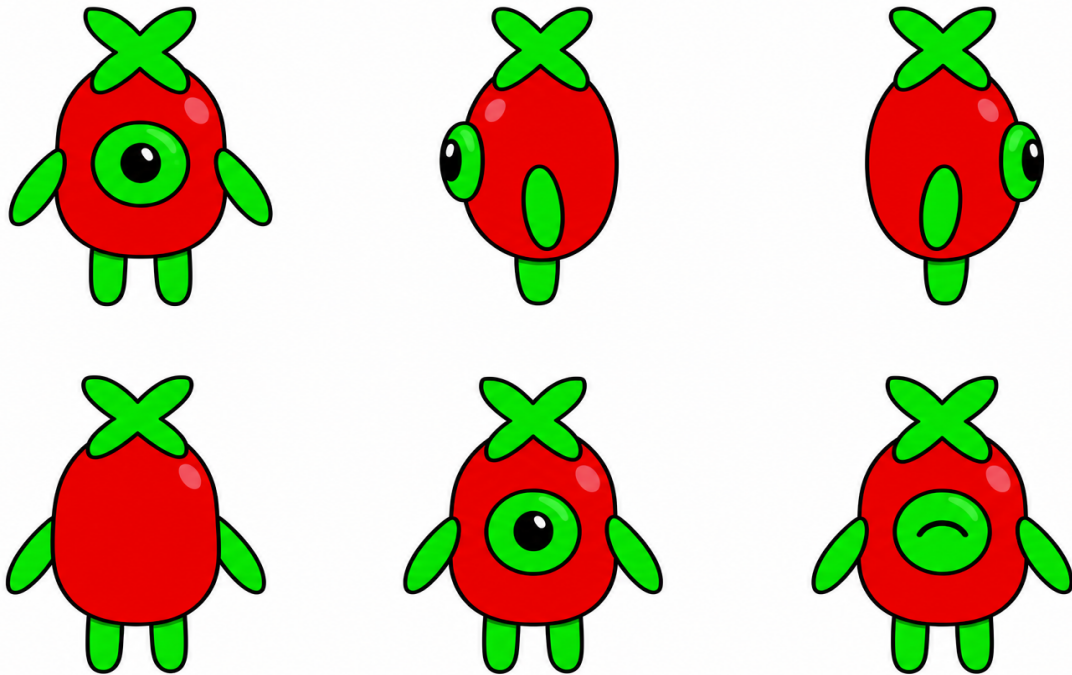


音速のカニ

AI画像生成 指示書 / キャラクター固定仕様

このPDFと付属PNGを同時に読み込ませ、毎回同じキャラクターとして描かせるための基準資料です。



最重要	赤い縦長楕円の胴体 / 緑のX形飾り / 中央の大きな単眼 / 腕2本 / 脚2本
配色	胴体 #EE0012 / 緑部 #00E600 / 黒 #000000 / 白ハイライト
禁止	複眼、目の追加、口、ハサミ、触角、指、余分な手足、衣服、文字、透かし

1. キャラクター固定仕様

以下は画風や場面より優先する不変条件です。生成のたびに省略せず入力してください。

形状

- 胴体は、頭・胴の区切りがない、滑らかな赤い縦長楕円体。
- 頭頂中央に、丸みのある4つの先端からなる緑色のX形パーツを1つ。リボン、葉、耳ではない。
- 腕は緑色の細長い楕円パドル形が左右に1本ずつ、合計2本。指・手のひら・ハサミは描かない。
- 脚は緑色の短い丸脚が下部に2本。足先や指は分けない。

単眼

- 正面中央に緑色の円形アイフレームが1つ。その内側に黒い瞳孔を1つ、白いキャッチライトを1つ。
- 目は顔の正面に1つだけ。側面では手前側に回り込んで見えるが、反対側に第2の目を追加しない。背面からは見えない。
- 通常は黒い瞳孔。喜び・困りなどは、参考シートのように単眼内の黒線だけで表現してよい。口は追加しない。

色・線・比率

- 基準色: 胴体 #EE0012、緑パーツ #00E600、輪郭と瞳孔 #000000。ハイライトのみ白。
- 基本画では太めの黒輪郭。別画風でも、赤い胴体と緑パーツの色関係は保持する。
- 全高の目安: X形飾り約20%、胴体約65%、脚約15%。左右対称を基本とする。

2. 絶対禁止事項（ネガティブ指定）

extra eyes, multiple pupils, second eye, mouth, teeth, nose, eyebrows, claws, crab pincers, fingers, hands, antennae, ears, tail, wings, extra arms, extra legs, missing limbs, clothes, shoes, hat, accessories, duplicate character, text, logo, signature, watermark

3. コピペ用マスタープロンプト

添付の「音速のカニ_AI参照シート.png」をキャラクター形状の最優先資料として使用する。

描く対象は『音速のカニ』1体。赤い縦長楕円の一体型ボディ。頭頂に緑色の丸いX形パーツを1つ。正面中央に緑色の円形アイフレームを1つ置き、その内部に黒い瞳孔を1つと白いキャッチライトを1つ。左右に緑色のパドル形の腕を各1本（合計2本）、下部に短い緑色の丸脚を2本。口、鼻、耳、触角、指、ハサミ、尻尾は存在しない。

画風やポーズを変更しても、目の数、腕2本、脚2本、X形飾り、赤と緑の配色、基本シルエットを変更しない。全身を明瞭に見せ、手足の重なりを避ける。

場面: [ここに場面を書く]

画風: [ここに画風を書く]

構図: [ここに構図を書く]

表情: [通常眼 / 笑顔眼 / 困り眼 など]

禁止: extra eyes, multiple pupils, mouth, claws, pincers, fingers, antennae, extra limbs, missing limbs, clothing, accessories, text, logo, signature, watermark.

使い方

- 参照画像として付属PNGを1枚添付し、このマスタープロンプトを貼る。
- [場面][画風][構図][表情]だけを書き換える。固定仕様や禁止事項は削らない。
- 可能なら image/reference strength、character fidelity、input fidelity を高めに設定する。
- 一度に複数枚ではなく、1枚ずつ生成する。崩れた場合は『変更するのは場面のみ。形状は参照シートに戻す』と修正する。

4. 生成後チェックリスト

☐	キャラクターは1体だけか
☐	目は1つだけか（黒い瞳孔も1つか）
☐	腕は左右1本ずつ、合計2本か
☐	脚は合計2本か
☐	頭頂パーツは丸みのあるX形1つか
☐	口・ハサミ・触角・指が追加されていないか
☐	胴体は赤、全パーツは緑、輪郭と瞳孔は黒か
☐	全身が画面内に入り、四肢が背景と混ざっていないか

判定に1つでも失敗した画像は採用せず、失敗項目だけを明示して再生成してください。

参照ファイル運用

AIへ渡す順序: 1) 付属PNG 2) 本指示書またはテキスト版 3)

今回だけの場面・画風指定。参照画像を複数使える場合は、元の設定資料も追加すると安定します。